

w001001	[中間区] 中間川とガジュマル・アコウ	概要 適用
 <p>w001001001) 中間川のガジュマルとアコウ、奥は七五岳 1488m</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">  <p>w001001002 川とガジュマル</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>w001001003 ガジュマルとアコウ</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>w001001004 ガジュマル気根</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>w001001005 アコウ気根</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>w001001006 ガジュマル、アコウ合体</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>w001001007 ガジュマル、アコウの葉</p> </div> </div>		<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気根を垂らすアコウ、ガジュマルともにゴムノキと同じワ科の樹木で、イチジクの仲間である熱帯亜熱帯の植物。 ・元来、森林の中に点在して見られるが、集落周辺などでは集団化している。 ・樹木としての有用性は低いですが、旺盛には繁茂して防風林として役立つので残された結果と思われる。 ・自然林の樹木というより村の緑、屋久島の南国らしい里の風景をつくっている。 ・島内では中間川河畔と志戸子集落のガジュマル林が特徴的である。 ・アコウとガジュマルの比較、両者の合体も見られる。 ・とくに道路をまたぐガジュマルアーチ《ガジュマルアーチ——リンク》は南国の暮らしの緑として観光価値が高い。 ・庭園で栽培されることもあり、香りのいいショウブ科のセキショウが水辺に自生している。 ・セキショウは海岸で石を熱して水をかける蒸風呂利用に使った薬用植物ともいわれている。 <p>【写真】</p> <p>w001001001) 中間川のガジュマルとアコウ、奥は七五岳 1488m</p> <p>w001001002) 川面に枝を伸ばすガジュマルとアコウ</p> <p>w001001003) 里のガジュマル(左)とアコウ(右)</p> <p>w001001004) ガジュマルの幹と気根</p> <p>w001001005) アコウの幹と気根</p> <p>w001001006) 川沿いの緑はガジュマル(左)とアコウ(右)の合体樹</p> <p>w001001007) 左側の小ぶりの葉がガジュマル、右側の大ぶりの葉がアコウ</p> <p>w001001008) ガジュマルに着生して実をつけるオオイタビ</p>



w001001008
オオイタビ



w001001009
川岸のセキショウ



w001001010
セキショウ



w001001011
ガジュマルアーチ

w001001009)水辺には、庭園でも栽培される香りのいいセキショウが自生している

w001001010)水辺のセキショウ

w001001011)観光ポイントになっているガジュマルアーチ